長い名

楠山正雄

一

ちょんきりのちょんさんのほんとうの名をだれも知りませんでした。何でも亡くなったこの子のおかあさんが、この子の運がいいように何かいい名前をつけようと、三日三晩考えぬいて、病気になって、いよいよ目をつぶるというときに、かすかな声で、
「ああ、やっと考えつきました。この子の名はちょん。」
といいかけたなり、もう口が利けなくなってしまったのです。そこでみんなはしかたがないので、「ちょ

ん」きりで、名前が切れて無くなってしまったというので、「ちょんきりのちょんさん」とあだ名を呼ぶようになりました。そのあだ名がほんとうの名前になって、いつまでたっても、その子はちょんきりのちょんさんでした。

しばらくたって、ちょんきりのちょんさんのおとうさんが、二度めのおかあさんをもらいました。間もなくこのおかあさんにも子供が生まれて、ちょんきりのちょんさんにも弟が出来ました。するとある人がおかあさんに、子供に短い名前をつけると、その子の命は短いし、長い名前をつけるほど、その子の寿命

は長いものだといって聞かせました。そこでおかあさんは、かわいい子に、せいぜい長い名前をつけてやりたいと考えて、とうとうつけもつけたり、

「ちょうにん、ちょうにん、ちょうじゅうろう、まんまる入道、ひら入道、せいたか入道、へいがのこ、いっちょうぎりの、ちょうぎりの、ちょうのちょうのちょうぎりの、あの山の、この山の、そのまた向こうのあの山越えて、この山越えて、桜は咲いたか、まだ咲かぬ、花より団子でお茶上がれ、お茶がすんだら三遍回って煙草に庄助。」

という、すてきもない長い名前をつけました。

二

兄弟はだんだん大きくなって、よくけんかをしました。すると弟はにいさんにさんざん悪いいたずらをしては、逃げて行って、遠くの方でまだからかっていました。

「ちょんきな、ちょんきな、ちょんちょん、きなきな。」

こういわれると、ちょんさんはくやしがって、負けずに弟の名前を呼んで、からかい返してやろうとしましたが、

「ちょうにん、ちょうにん、ちょうじゅうろう、まんまる入道（にゅうどう）、ひら入道（にゅうどう）、せいたか入道（にゅうどう）、へいがのこ、いっちょうぎりの、ちょうぎりの。」

と早口（はやくち）にやっているうちに、舌（した）がもつれて、かんしゃくばかり起（お）こってきました。その間（ま）に弟（おとうと）の方（ほう）はどこかへ逃（に）げて行ってしまいました。

　ちょんさんのおとうさんはまた、ちょんさん、ちょんさんと、にいさんの方（ほう）が名前（なまえ）が呼（よ）びいいので、何（なに）かにつけて、

「これをしろ、ちょんさん。あれをしろ、ちょんさん。」

と、ちょんさんばかりひどく使（つか）いました。いたずら

をしても、
「これ、ちょんさん、ここへ来(こ)い。ごつん。」
とすぐやられますが、弟(おとうと)の方(ほう)は、「まんまる入道(にゅうどう)、ひら入道(にゅうどう)、せいたか入道(にゅうどう)、へいがのこ、いっちょうぎりの、ちょうぎりの。」をやっているうちに、くたびれてしまって、おとうさんも小言(こごと)をいうのが、めんどうくさくなりました。
　おかあさんは、「やはりあの子に長(なが)い名(な)をつけて、いいことをした。」と思(おも)いました。

三

ある日ちょんさんは、お友達といっしょに裏で遊んでいました。するうち、どうかしたはずみで、ちょんさんは井戸に落ちました。

「ちょんさんや、ちょんさんや。ちょんさんやい。」

みんなは口々にこう名前を呼んで、縄を下ろしたり、はしごをかけたりして、やっとちょんさんを助け出しました。

おかあさんは、「やはり、短い名前の子は運が悪いというのは、ほんとうだ。」と思っていました。

それから二三日たって後、子供たちはまた裏で遊ん

でいました。

ちょんさんの弟は、「ちょんさんの落ちたのは名前が短くって、運が悪いからだ。おれなんかどんなことをしたって落ちやしない。」といばりかえって、わざと井戸側にぶら下がったり、つるべを引っぱったりしているうちに、はずみでぽかんと井戸の中へ落ちてしまいました。大ぜいのお友達はびっくりして、ちょんさんのうちへ駆けつけて、

「大へんです。今、ちょうにん、ちょうにん、ちょうじゅうろう、まんまる入道、ひら入道、せいたか入道、へいがのこ、いっちょうぎりの、ちょうぎりの、ちょ

うのちょうのちょうぎりの、あの山の、この山の、そのまた向こうのあの山越えて、この山越えて、桜が咲いて、お山のからすが団子ほしいとないた、ではない、花より団子でお茶上がれ、お茶がすんだら三遍回って煙草に庄助さんが、井戸にはまりました。」

と知らせました。

「それは大へんだ。」

とみんなで駆けつけるうちに、あんまり手間がとれたので、長い名の庄助さんは、とうとう水に溺れて死にました。

底本：「日本の諸国物語」講談社学術文庫、講談社
1983（昭和58）年4月10日第1刷発行
入力：鈴木厚司
校正：大久保ゆう
2003年8月2日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。